

新規・継続等	新規	分野	森林を育成する治山		事業番号	34	事業名	水源地域等保安林整備 (奥地保安林保全緊急対策)				
市町村名	松本市		ふりがな 箇所名	な がわ 奈川		事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度 ~		H24 年度			
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	谷止工2個、森林整備30.00ha					H22年度末事業進捗率	0 %				
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0 %				
	H23年度実施内容	谷止工1個、森林整備20.30ha					用地補償費ベース	- %				
	年度			H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降		
財源内訳	事業費計(千円)	65,500		0		0		32,800		65,500		
	国庫支出金	33,000		0		0		16,500		33,000		
	その他											
	県債	29,250		0		0		14,670		29,250		
	一般財源	3,250		0		0		1,630		3,250		
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			部		政策評価課		
								ランク	評点	ランク	評点	
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上		1~9戸		0戸		A	3	A	3
		保全対象公共施設	2箇所以上		1箇所		なし			5		5
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設		一般施設		なし			0		0
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上		保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり		保安林率30%未満			7		7
		小計							15		15	
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去5年に1回以上		災害履歴地		なし		A	5	A	5
		交通遮断による地域経済などへの影響	大		中		小			5		5
		防災計画上の位置づけ	あり		なし					5		5
		小計							15		15	
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上		B/C1.0以上2.0未満		B/C1.0未満		A	10	A	10
		早期発現度	3年未満		3年以上5年未満		5年以上			7		7
		流域の総合調整	あり		なし					0		0
		小計							17		17	
	緊急性 (25)	最寄の保全対象までの距離	50m未満		50m以上200m未満		200m以上		A	7	A	7
		平均渓床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)		5°~10°未満(20~30°未満)		5°未満(20°未満)			6		6
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし		あり(概ね満砂)		あり(ポケットあり)			3		3
		危険地区危険度	Aランク		Bランク		Cランク			4		4
		小計							20		20	
計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い		市町村要望有り		特に要望ない		A	10	A	10	
	事業情報の共有	関係者以外にも周知		関係者中心に周知		特に周知していない			3		3	
	住民参加の状況	住民が直接参加		住民市町村意見を反映		住民意見反映していない			3		3	
	小計							16		16		
	費用対効果(B/C)	2.37		評価の合計			A	83	A	83		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	旧奈川村内を活断層境峠-神谷断層帯が横切り、地形急峻・地質脆弱なことから崩壊が多発しており、昭和20年代後半から継続的に治山事業を行ってきた。平成18年7月豪雨及び平成21年の雪害により新たな土砂流出・森林機能の低下が発生したことから森林機能の回復・土砂の安定化が必要となっている。										
	地域からの要望経緯	上記の状況により道路管理者である松本市等が応急措置を行い通行を確保したものの、林内には大量の不安定土砂・倒木が存在し今後の降雨等により再度交通が遮断されるおそれが高い、またゴリ沢地区では継続的な土砂流入により農業水路の取水が困難になる等住民生活にも支障がでており継続的に安全確保を求める住民要望が出ている状態にある。										
	事業説明等の経緯	平成21年1月30日・平成22年2月9日開催の奈川地区町会長・森林支部長会にて地元町会より復旧対策要望が出され松本市奈川支所担当職員とともに現況状況・復旧計画について説明。現地調査を踏まえた事業計画について平成23年2月2日に奈川地区町会長・森林支部長会にて説明、事業実施の同意及び早期着手しゅん工の要望が出された。平成23年度事業計画地の地権者の事業実施同意取得済み。										
	環境・景観への配慮項目	谷止工計画地は通称乗鞍スーパー林道から目視できない位置に計画し、林道までの区間は河床整理のみとし支障木の伐採は必要最小限に止め景観に配慮した計画としている。										
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。										
特記事項	保全対象である主要地方道奈川木祖線は住民の生活道路のみではなく中京方面から上高地方方面への観光利用も多い。また、通称乗鞍スーパー林道は観光利用が多く計画保全対象部分は災害復旧工事で乗鞍高原側が現在通行止となっていることから猛禽類の渡り等の観測がおこなわれる白樺峠への唯一の経路となっている。											
地域の合意形成	全員賛成			概ね賛成			過半数賛成		動向不明		その他	
部意見	当該地は平成18年度の豪雨災害及びその後の気象害による荒廃及び不安定土砂の堆積が未だに残る箇所であり、施設整備と森林整備による荒廃地の復旧により、水源環境の改善が早期に求められている。					政策評価課意見		重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。				